

第33回「理学療法ジャーナル賞」発表

第33回「理学療法ジャーナル賞」の審査が本誌編集委員会にて行われ、下記の論文を準入賞・奨励賞と決定いたしました。本年も日頃の研究成果をまとめ、奮ってご投稿をお寄せくださいますようお願いいたします。

- 準入賞** 山科俊輔，他：保存療法中の変形性膝関節症患者を対象とした観察に基づく歩行異常性評価の構築に向けた研究—評価の項目特性，因子妥当性，併存的妥当性および検者間信頼性（第55巻第8号，原著）
近藤千雅，他：大腿骨頸部／転子部骨折術後における急性期リハビリテーションの費用対効用（第55巻第10号，原著）
 - ・賞状，賞金5万円および本誌1年間無料贈呈
- 奨励賞** 吉田啓志，他：自立歩行が可能な脳卒中患者における日本語版 Physical Activity Scale for the Elderly（PASE）を使用した身体活動量評価の妥当性および信頼性の検討（第55巻第11号，報告）
 - ・賞状，賞金3万円および本誌1年間無料贈呈